

(特非) 奥天降霧島

奥天降(おくあもり) 清水ふれあいゾーン エコツアー推進によるカワゴケソウの保護

活動に対する 問合せ件数	15 件
河川ゴミ拾い	25 回
活動の全体目標 に対する達成度	70%



国指定天然記念物火砕流とカワゴケソウ探索

◆成果と工夫したポイント

●成果

エコツアー推進時に、知られていないカワゴケソウの生育・開花時期に遭遇した参加者は、生物多様性の考え方についても認知度を向上させられた。地道な取組みがカワゴケソウの保護活動に適している。

●工夫

カワゴケソウ開花時(10月11月)は、河に仮橋を設置。その都度撤去し、増水に備え高台に仮置きした。

課題

近年確認された奥天降のカワゴケソウは認知度がなく、群落にはその他の藻類の侵入が確認されている。合併による職員減少の影響もあり具体的な保護活動は行われていない。

目標

国指定天然記念物火砕流に生息するカワゴケソウは、ほとんど手つかずの奥天降のため、開花時期等ほとんど知られていない。今般エコツアー推進と保護を目的に、通年成長過程を観察し、エコツアー参加料を保護活動費に当てた。

活動内容

鹿児島県立博物館、霧島市生活環境部、観光協会、環境保護団体複数に相談し実施。定点観測場所は国指定火砕流を避けて複数人での観測を基本とした。ツアー前日はルート上のゴミ拾いを実施した。東京・広島から参加の専門家に対して、パークボランティアと案内。カワゴケソウの開花時には多くの参加者を予定したが、安全上から規模を縮小した。その結果、参加者の皆さんに、カワゴケソウの花の説明が詳しく出来た。



明治 36 年頃構築肥薩線久留味川暗渠探索

達成できなかったこと

自然が相手で、雨の時期多くの地元観光関係者を含むエコツアーを中止した。奥天降の認知度不足と絶滅危惧種等の盗掘を恐れ、不特定多数に広報活動を実施出来なかったため。

今後の展望

環境省や観光庁の取組みの中などでエコツーリズムを発展させ、また、子ども達の環境教育にも力を入れたい。